

特別支援教育実習9月（小学部）



8月28日（金）から9月17日（金）までの15日間、教育実習を行いました。小学部では、特別支援教育専攻の3年生7名が実習に取り組みました。今回の実習では、実習授業を2回行い、1回目の授業を終えた後に、子どもたちの様子などから自分たちの授業を振り返り、支援方法や教材を改善して、2回目の授業に臨みました。3週間の実習を通して、子どもたちとの関わりを深め、すっかり仲良くなった実習生たち。迎えた実習最終日には、充実感にあふれた表情を見せていました。子どもたちからメッセージカードを受け取ったり、「また来てね。」と声をかけてもらったりすると、実習生たちの顔には自然と笑顔が広がりました。子どもたちとの出会いや日々の関わりを通して、多くのことを学んだ15日間となりました。

1組

<国語>

～違いを見つけよう～
イラストを見ておかしな部分を言葉で伝えました。



<あそび>

～アスレチックランド
であそぼう～
滑り台や跳び箱などで思い切り遊びました。



2組

<図工>

～うごくおもちゃを
つくろう～
ペットボトルを使用し
うごくおもちゃを作りました。



<国語>

～気持ちを考えよう～
イラストや文章から、
登場人物の気持ちを
考えました。



3組

<音楽>

～リズムを作ろう～
四分音符と八分音符
を使ってリズムを作り
ました。



<体育>

～サッカー～
友だちと声を掛け合
いながら、2対2のミニ
ゲームをやりました。



<国語>

～気持ちを考えよう～
登場人物の表情や行
動から、気持ちを考え
ました。



特別支援教育実習9月（中学部）

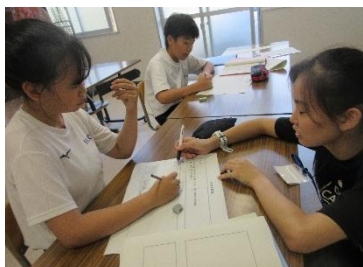
静岡大学教育学部特別支援教育専攻 3 年生の7名が中学部で教育実習を行いました。昨年に引き続き2度目の実習となり、子どもたちからも積極的に関わる様子が見られました。

今回の実習では、『国語・数学』の授業づくりに取り組み、実践しました。子どもたちとうれしそうに関わって実態把握をしたり、子どもたちの興味に寄り添い教材を工夫したりと、授業づくりに向き合うことができました。日々の関わりの中で、子どもたちの成長に気づき、教師の仕事にやりがいを感じる実習生の姿が印象的でした。

授業の様子

【国語・数学】

実態別の小グループに分かれて学習しています。子どもたちの好きなものを手掛かりに、興味のある活動を設定したり、やりたくなるような教材を作ったりしたことで、子どもたちの学びに向かう姿をたくさん引き出すことができました。



その他の学習の様子

実習中は、さまざまな場面でたくさんの実習生と関わりながら学習しました。3週間を共に過ごした最後の学級活動では、笑顔あり、涙ありの温かい時間が流れていました。実習生に多くの学びがあるように、子どもたち一人一人にとっても学びの多い3週間となりました。



教育実習（高等部）



静岡大学教育学部特別支援教育専攻の3年生6名が高等部で3週間の教育実習を行いました。高等部生徒が実習生と学習に取り組む様子を紹介します。

国語【敬語】「ていねいな言葉を用いて、学校のいいところを紹介しよう」

「相手を大切にしていインタビューしよう」

口語表現を丁寧語に言い換えたり、書き直したりし、学校のいいところを紹介したり、ゲストにインタビューしたりすることを目指しました。

比較動画の視聴では、口語表現の様子を見て「丁寧さが無い。」「敬語じゃなかった。」と発言するなど、場面に応じた言葉遣いに気付く姿が見られました。

どちらのグループも、実際に丁寧語を使って学校のいいところを伝えたり、目上の人にインタビューしたりすることができ、自信や達成感が感じられました。

今後の現場実習や販売会にもつながる学びとなりました。



作業学習【自主生産作業：農園芸班】

「お客様が欲しい野菜を考えて種をまこう」

前回の販売会で聞いた、お客様がほしい野菜について、畝の立て方や播種の方法を調べ、規格にそって作業を進めることを目指しました。大根やほうれん草、インゲン豆などの、それぞれの畝高、畝幅、株間、まき溝について調べました。そして、グループの仲間と声を掛け合い、協力して調べたとおりに畝を立て、播種することができました。作業に取り組む中で、やりやすい方法や使いやすい道具が分かって自分で選択したり、安全な道具の使い方や管理の仕方についての意識が高まったりしました。

引き続き11月のふぞく販売会に向けてみんなで協力して栽培し、お客様のニーズに応えられるようにしたいと思います。



作業学習【自主生産作業：陶芸班】

「人気の製品を調べよう!～静大販売会に向けて～」

静岡大学での販売会に向けて製品づくりを進める中で、担当する工程で時間内に目標数完成させることや、道具を正しく扱い、規格通りに仕上げるためのポイントにそって進めることを目指しました。

計量・練り・板づくりグループ、成型グループ、釉薬グループともに、前時の様子を参考に様々な手立てを講じたことで、生徒がその時間の目標を意識し、ステップアップしていく姿が見られました。

9月30日の静大販売会では、多くの先生方、学生にお買い上げいただき、達成感や次の製作への意欲が高まりました。

